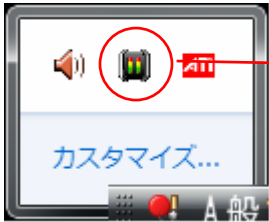


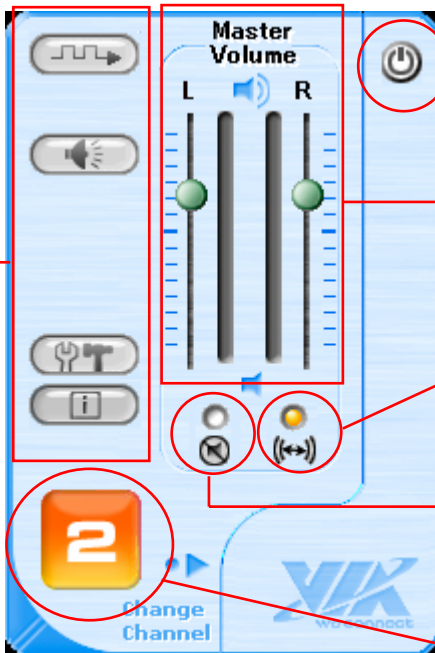
■ オーディオコントロールパネル(Audio Deck)の起動

Windows 7の通知領域(タスクトレイ)上のオーディオコントロールアイコンをクリックして起動します。
または、[スタート]→[すべてのプログラム]からEnvy24HFAudioDeck Control Panelをクリックして起動することもできます。



オーディオコントロールアイコン

■ オーディオコントロールパネル(Audio Deck)の使い方



クリックするとパネルを閉じます。

マスターボリューム
全体の音量を調節します。

フェーダーリンク
左右のボリュームが同期して上下に移動します。
クリックしてボタンを消灯させると、左右別々
で音量を調節することができます。

ミュート
全体の音声を消音にします。
クリックしてボタンを点灯させると有効になります。

スピーカーのチャンネル数が表示されます。

パネル切り替えボタン

パネル切り替えボタンをクリックすると各メニューが表示されます。

■ デジタル出力の設定をする(S/PDIF コントロールパネル)

S/PDIFコントロールボタンをクリックしてパネルを開きます。

[S/PDIFコントロール]パネルでは、デジタル出力の方法とデジタル入力のモニター方法などを設定します。



● [デジタル出力方法]を設定する

1. デジタル出力の有無

S/PDIF出力を使用

再生時、デジタルアウト端子から再生を行うときにチェックをつけます。チェックをはずすとデジタル出力されません。

2. デジタル出力信号の種類を選ぶ

AC3またはPCMを自動選択(48kHz)

光デジタルアウト端子から出力する音声の形式(AC3またはPCM)を自動選択して出力します。出力される音声のサンプリング周波数は[48kHz]固定となります。インストール時の設定です。

PCMのみ

WAVEなどのPCM音声のみ出力します。パネル右部のSample Rateから任意のサンプリングレートを選択することができます。

音楽を再生中に選択を切り替えた場合、変更を有効にするために、一旦再生を停止してから再度再生をおこなってください。Sample Rateは[44.1][48][96][192]から選択ができます。

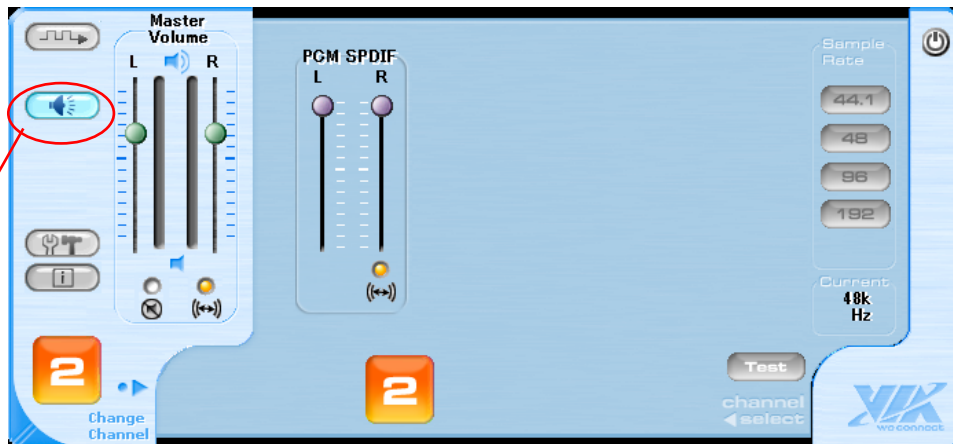


■ パソコンから出力される音声ボリュームを調整する(再生パネル)

再生ボタンをクリックしてパネルを開きます。

[再生]パネルではパソコンから出力される音声のボリュームを調整できます。

再生ボタンを
クリックする



● ボリュームフェーダー

各音量を調整します。

● ミュート

音声を消音にします。クリックしてボタンを点灯させると有効となります。

● フェーダーリンク

各音声の左右のボリュームが同期して上下に移動します。

クリックしてボタンを消灯させると、左右別々で音量を調整することができます。

- スピーカーの接続状況を確認する(スピーカーテスト)(アナログマルチチャンネル出力用です)
[スピーカーテスト]パネルは下部の[Test]ボタンをクリックします。このパネルでは接続されているアナログマルチチャンネル出力の各スピーカーのサウンドのチェックを行います。
サウンドチェックを行いたいスピーカーをクリックしてください。
選択したスピーカーのアイコンが点灯している間に選択したスピーカーからテスト音が出力されます。



クリックする

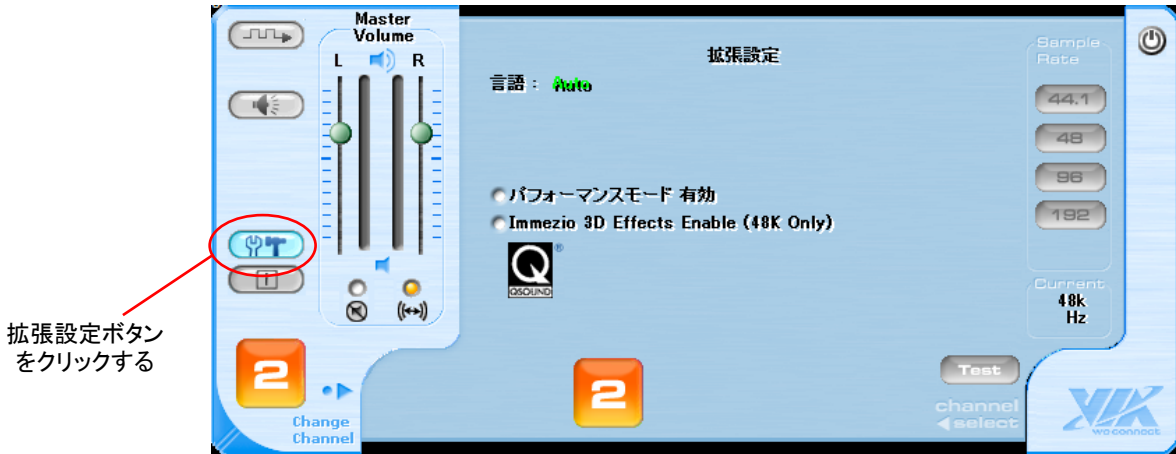
ご注意

- デジタル出力からはテスト音は出力されません。

■ 拡張設定を使用する(拡張設定パネル)

拡張設定ボタンをクリックしてパネルを開きます。

[拡張設定]パネルでは、オーディオコントロールパネルの表示言語を変えたり、さまざまなサラウンド効果やイコライザー機能を付加して再生することができます。



● 言語

オーディオコントロールパネル(Audio Deck)の各設定表示の言語を選択します。
インストール時の設定は[Auto]です。

● パフォーマンスモード有効

再生時のMaster Volumeレベルや各スピーカーのレベルインジケータ表示を停止します。

● Immezio 3D Effects Enable

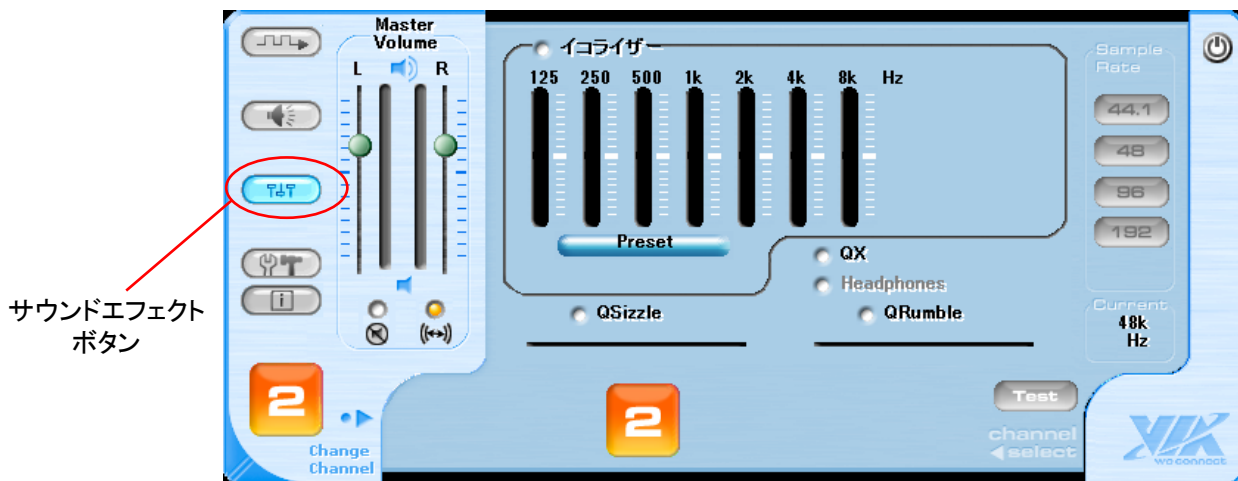
Immezio 3DのQSoundおよびEAX・A3Dなどのサラウンド効果を使用する場合は[Immezio3D EffectsEnable]
をクリックします。

パネルの左部分に[サウンドエフェクト]ボタンが追加表示されます。Immezio3DのQSoundの各設定については次のページをご覧ください。

■QSound を使用する(サウンドエフェクトパネル)

サウンドエフェクトボタンをクリックしてパネルを開きます。(サウンドエフェクトボタンを表示させるには、上の項目をご覧になって拡張設定パネルで、[Immezio 3D Effects有効]をクリックしてください。)

[サウンドエフェクト]パネルでは[QSound]を利用してさまざまなサウンド効果やイコライザー機能を付加して再生することができます。



●イコライザー

イコライザー機能を使用します。[イコライザー]ボタンをクリックして、イコライザーボタンを点灯させ、各周波数のスライダーを上下して調整してください。イコライザーを使用しない場合はイコライザーボタンをクリックしてボタンを消灯させてください。

Smooth Slider

周波数のスライダーを上下した際に、その周辺のバンドも同期して上下させることができます。Smooth Sliderは[イコライザー]が有効になっている場合にのみ表示されます。

Presetボタン

あらかじめプリセットされているイコライザー設定(Techno、Jazz、Pop、Classic)を呼び出すことができます。

また、自分で設定したイコライザーの状態を保存することもできます。

●Q X

2chスピーカーで3次元的な広がり感を付加させることができます。有効にするには、QXボタンをクリックしてボタンを点灯させてください。

●Headphones

Headphonesで聴きやすい音質に調整します。

●QSizzle(キューシズル)

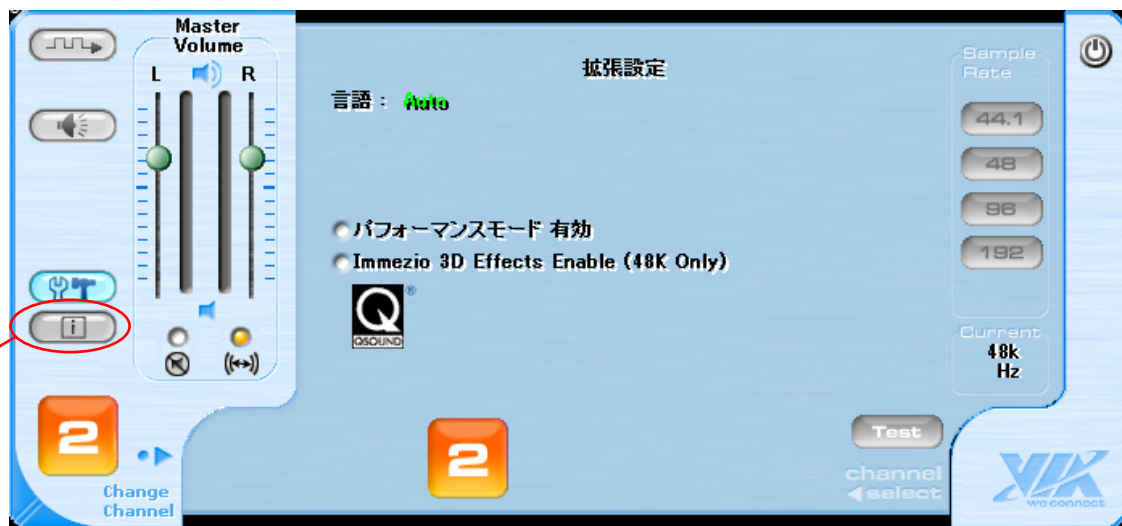
中・高音部を調整します。有効にするには、QSizzleボタンをクリックしてボタンを点灯させてください。スライダーで効果の強さを設定することができます。

●QRumble(キューランブル)

低音部を調整します。有効にするには、QRumbleボタンをクリックしてボタンを点灯させてください。スライダーで効果の強さを設定することができます。

■ システム情報を確認する(システム情報パネル)

システム情報ボタンをクリックしてパネルを開きます。
ドライバやWindowsなどのバージョン情報が表示されます。



システム情報ボタン
をクリック